

侘び寂び男子



2
0
2
2
年
9
月
10
日

部活紹介

栞原直弥

「清浄庵」というお茶室の名前

には、煩惱・私欲などが無く、心身が清らかであるという意味が込められています。

茶道部は、毎週火曜日に月三

味が込められています。

回、北館二階にある清風学園の

礼儀・作法・教養・おもてな

お茶室である「清浄庵」で二時

しの心など茶道を通じて学び、

間ほどの活動をしています。そ

自分磨きに励みませんか？関

の茶室は教室一つ分をそのま

心を持った方がおられました

まりフオームして作られました

ら、ぜひ一度お茶室へ足を運ん

た。部員の数は十五名ほどで、

てください。

一人一人がとても優しく、わか

らない所があっても丁寧に教

えてくれます。



茶道部に入ってみて

り安心しました。

岡本英大

入部してみると先輩方が積

極的に自分に話しかけてくれ

僕は、茶道部に入部して良か

たので嬉しかったです。僕も先

ったと思います。なぜなら、茶

生や先輩方を見習ってコツコ

道をする上での礼儀や先輩と

ツ作法を覚えていきたいと思

の関わり方などいろいろと学

っています。そして、校外活動

べるからです。初めて茶道部の

にも参加していききたいと思っ

見学に行ったとき、先生や先輩

ています。まだまだ覚えること

方が優しく丁寧に歩き方や食

は沢山ありますが、先生や先輩

べ方を教えてくださいました。

方に教えていただいたことを

行く前はとても緊張していた

一つずつ覚えていきたいと思

のですが、優しく接してくださ

います。



お初釜について

大熊奏翔

ただ「薄茶」とは異なり、お湯の量に対してお抹茶の量を多くしていただくお茶のことです。薄茶ではお茶を「点てる」と表現されますが、濃茶ではお茶を「練る」と表現されます。今年のお初釜でも濃茶をいただきました。薄茶はサラサラとしていますが、濃茶はとろりとしていて口当たりが全く違います。濃茶の味はとても深みがあり、茶葉の味を味わえました。考えてみると濃茶にも薄茶にもそれぞれの味わいがあると思いました。来年また、濃茶をいただくときには味わいや茶葉のうま味を感じながらいただこうと思いました。

部は「お初釜」とは、今年のお初釜でも濃茶をいただきました。薄茶はサラサラとしていますが、濃茶はとろりとしていて口当たりが全く違います。濃茶の味はとても深みがあり、茶葉の味を味わえました。奥が深いと思いました。

「濃茶」とは普段のお稽古で

茶道について

私たちは、五月から十月ま

校外学習について

西之坊蓮

だが「風炉」、十一月から四月

浅井悠貴

鎌倉時代にお茶が広まった

節ごとの所作を学んでいます。

ここ数年はコロナウイルス

のち、「わび茶」を千利休が発

また、千利休の言葉である

蔓延により、校外学習を行うこ

展させ、現代の茶道が確立しま

「四規七則」を茶道の心得とし

とが出来ていません。例年では、

した。茶道には三つの代表的な

て大切にし、四百年以上絶える

お茶碗を作りに行く「作陶」や

流派である表千家、裏千家、武

ことなく継承されている伝統

西大寺での「大茶盛」に参加し、

者小路千家の三千家があり、清

文化を学んでいるのです。

茶道の技術を向上させたり知

風学園の茶道部は表千家です。

識を深めたりしています。

表千家は、古くからの作法を忠

茶道部一同、コロナの早期収

実に守っているのが特徴の流

束を願っています。

派です。

一年間部長をさせて頂いて

桐井海舟

が終息せず、僕が感染してしま

後の茶道部でも、互いが手を取

うという失態を犯してしま
ました。そんな時、小西先生や

り合い、和気藹々と活動してく
れることを願っています。

僕は中学一年生の時からこ
の茶道部で活動しており、同じ
学年の部員が全くいなかった
ため、この一年間部長をさせて
もらうことになりました。

この一年間で僕が学んだこ

感謝しかありません。

とは、当部員と先生方の支えの
重要さです。

このように、学年を超えて交
流することが出来る点がクラ

この一年間、お稽古の連絡を
忘れてしまう、コロナウイルス

ブ活動における最大のメリッ
トと僕は考えます。僕が退いた



部員

高校三年生

桐井海舟（部長）

中学三年生

西之坊蓮

中学一年生

岡本英大

高校二年生

長谷川泰星

堤下大和

栞原直弥

福井康太郎

中学二年生

高校一年生

浅井悠貴

大熊奏翔

疋田柊馬

川口慶人

田口颯大

重光慶太郎